|  |  |
| --- | --- |
| ウェブクランプ工法\_建方手順 | |
|  | ①接合金物のセット  接合金物、およびある場合はフィラープレートの2つについて、事前に柱にセットしたうえで柱の建ておこしを行う。 |
|  |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| ウェブクランプ工法\_建方手順 | |
| フェンス, 屋外, 跡, 電車 が含まれている画像  自動的に生成された説明 | ②柱の建ておこし  柱の建ておこしは適宜柱に取り付けた釣りビースなどを用いて行う。  通常の柱の建ておこし作業と変わらないので、適宜トランシット等で精度を確認しながら所定の位置に柱の建ておこしを行う。 |
|  |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| ウェブクランプ工法\_建方手順 | |
|  | ③梁の建方  梁の建方は、まず梁ウェブと柱をガセットプレート部分に仮ボルトを入れて固定する。  ④仮ボルト入れ  ③の時点で梁ウェブとガセットプレートに仮ボルトが挿入されているが、その後上下の梁フランジと接合されるトッププレートおよび接合金物に仮ボルトを挿入する。  ⑤本ボルト入れ  通常の梁継手と同様に、ボルト接合部各部に本ボルトを挿入する。 |
|  |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| ウェブクランプ工法\_建方手順 | |
|  | ⑥デッキとの納まりについて  右図は上フランジに接合金物がある場合のデッキの納まりである。上フランジがトッププレートの場合は、在来工法のデッキPLの納まりに従う。  柱にはコン止め用のプレートが溶接されており、また金物のボルト接合部まわりにはデッキ受けがついている。  コン止め用のプレートは梁天端から30mm下がっているので、適宜Z金物等で塞ぎを入れる。 |